

平成 25 年 4 月 30 日

集団予防接種等によるB型肝炎感染拡大の検証
及び再発防止に関する検討会
座長 永井 良三 様

集団予防接種等によるB型肝炎感染拡大の検証
及び再発防止に関する検討会
構成員 八橋 弘

資料4「集団予防接種等によるB型肝炎感染拡大の再発防止策について（案）」
について（意見書）

4月3日の第9回集団予防接種等によるB型肝炎感染拡大の検証及び再発防止に関する検討会における資料5「具体的な論点（たたき台案）」に対し、当方から「感染拡大がこういうふうに広がった理由の中に医学的なコメントがないのが少しあるので、補足したい」として「医学的に、現在においても感染経路の証明というのが難しいということを念頭に置いた上で、また行政的にどうすべきかというのを議論していただくのがいい」との意見を申し述べさせていただきました。

については、前回の当方の意見について、裏付けとなる医学的データを別添としてお示しするとともに、資料4「集団予防接種等によるB型肝炎感染拡大の再発防止策について（案）」中の42ページにある同様の趣旨の記載について、より正確性を期すため、以下のとおり修正するよう、申し述べます。

<修正案>

B型肝炎感染については、潜伏期間に幅があること、不顕性感染例も存在するという疾病の特徴から、特定のエピソードがない場合には現時点でも感染経路の特定が困難であることの認識が必要である。